

【5/8~10 宮城県名取市、気仙沼市、石巻市の全11ヶ所で「愛とヒューマンのコンサート」】

5月8日から10日の3日間、ヴァイオリンの松本克己がソロで宮城県の名取市、気仙沼市、石巻市を訪問しました。(ピアノ=相馬泉美、尺八=林真山 8日のみ)阪神淡路大震災や中越地震など被災地での演奏活動を続けてきた「愛とヒューマンのコンサート委員会」(埼玉県)が中心となり主催、安全な住まいと街づくりをすすめるネットワークや宮城県高等学校教職員組合が現地のコーディネートを行いました。

名取市ゆりあげ地区では、たくさんの方が亡くなった浜を見下ろす高台で鎮魂の野外コンサートが行われました(朝日新聞記事)。2ヶ月にわたる避難所生活を強いられている被災者の方々には、ハーライン「星に願いを」、マスネ「タイスの瞑想曲」、シューベルト「アヴェ・マリア」貴志康一「竹取物語」「水夫のうた」など、約40分の演奏をプレゼントしました。正座して聞く人、横たわりながらも目を閉じじっと聞き入る人、赤ちゃんと一緒にのお母さん、学校から帰った子どもたち、避難所をサポートするボランティアの人々、炊き出しをする自衛隊の若い隊員など、たくさんの人たちとの出会いがありました。みんなが“つながって、生きている”ことを実感する時間が流れました。

<訪問先>

5月8日(日) 名取市
 11:00 益田西小学校避難所
 14:00 ゆりあげ地区日和山
 19:00 名取市文化会館避難所

5月9日(月) 気仙沼市

11:00 階上(はしかみ)中学校避難所
 13:00 松岩公民館避難所
 15:00 面瀬中学校避難所

5月10日(火) 石巻市

10:00 石巻高校避難所
 12:00 湊小学校避難所
 14:00 門脇中学校避難所
 14:45 石巻中学校避難所
 16:00 北上子育てセンター避難所

鎮魂の調べ 被災地に

坂本弁護士友人ら企画

1989年にオウム真理教幹部に殺害された弁護士坂本堤さん夫婦の友人らが8日、宮城県名取市岡上で、震災で亡くなった人たちのため、鎮魂の野外コンサートを開いた。

中心となったのは、坂本弁護士の救援運動を続けた日本フィルハーモニー交響楽団のバイオリニスト松本克己さん(68)。「弱者に尽くす」という坂本弁護士の思いを引き継ぐ」と、「愛

とヒューマンのコンサート」と名付けて阪神大震災や新潟県中越地震の被災地でも演奏してきた。

壊滅した街に残る高さ8村ほどの通称「日和山」から、この日のために編曲された宮城県の民謡「斎太郎節」などの悲しい調べが、がれきの野に流れた。強風が吹き荒れ、猛烈な砂ぼこりが舞うなかで聴き

入っていた同市内の主婦(49)は「大漁旗を掲げた船や友人を思い出した」と涙ぐんでいた。(伊藤智彦)

野外コンサートでバイオリンを演奏する松本克己さん(中央)ら11日午後、宮城県名取市岡上、小高路勝勝影

